

平成27年度 東郷町図書館協議会会議録

- 1 開催日時 平成27年7月9日(木) 午後2時～3時30分
- 2 開催場所 東郷町民会館1階 第2会議室
- 3 出席した委員 水野和恵、杉原智子、野々山清子、岸洋行  
近藤達也、林ひろみ
- 4 出席した事務局 生涯学習課長、課長補佐
- 5 指定管理者 東郷町施設サービス㈱  
図書館長、施設管理事業部長、図書館チーフ、図書館担当者
- 6 傍聴者 なし
- 7 会議内容
  - (1) 辞令交付
  - (2) あいさつ
  - (3) 委員長選任
  - (4) 議題
    - ア 平成26年度 図書館事業実績報告について
    - イ 平成27年度 図書館の運営について
  - (5) その他
- 8 会議記録  
別紙のとおり。

## 会議の内容

- 1 辞令交付
- 2 あいさつ 生涯学習課長
- 3 委員長選任 水野和恵委員を委員長、杉原智子委員を副委員長に選任
- 4 議事内容（進行：委員長）

### 【議題1】平成26年度 図書館事業実績報告について

館長 会議資料の他に、図書館だより、としょかんKIDSだより、図書館からのお知らせ、東郷町立図書館利用案内、夏のお楽しみ会のチラシを配布させていただいた。参考にさせていただきたい。

以下、会議資料1に基づき説明

委員 蔵書について毎年、購入予算はいくらぐらいなのか。

館長 毎年、600万円の予算で新規の蔵書を購入している。約4千冊の本を購入している。本図書館の適正収納蔵書冊数は10万冊であり現在約12万数千冊であり、保管するところがない状況になっており、棚の上にも置いている。中学校のほうは、どのぐらいの予算があるのか。

委員 小中学校の蔵書購入額は慢性的に少ない状況であり、自分の中学校の場合は昨年度、約200数十万円で、今年度は約120万円である。貸し出された冊数からいえばあまりコストパフォーマンスは良くない状況である。今までは、あまり利用されていない状況であったが、図書補助員も入れていただいたこともあり、図書館を利用するよう促している。

図書館の利用できる時間も限られており、また放課等は運動場で元気よく遊ぶ生徒がとても多く、図書館を利用する生徒が限られてしまっている状況です。また、小学校と違って授業で調べ物があり図書館へ連れていくという事もほとんどない状況である。しかし、せっかく予算も付けていただいているところなので、司書教諭を中心に利用促進につながる工夫をしていきたい。

委員長 町のほうは、少ない予算の中でやりくりを上手にしてみえるという事ですが、

中学校につづき小学校のほうではどうでしょうか。

委員 自分の小学校の場合持っていなくてはならない冊数に足りていないという状況なので、今年はたくさん予算をつけていただいたので、増やしていこうと考えている。慢性的に足ない状況は変わらない。

週に1回、10分間の読書タイムを設けているが、その時に全員が図書館の本を借りてしまうと図書館の本が足らなくなるという状況に陥る。町図書館から学校への団体貸出が50冊できるようであるが、低・中・高学年ごとに50冊ぐらいあると良いと思う。

委員長 小中学校の現状をお聞きしましたが保育園、児童館ではどうですか。

委員 保育園では年長組の子が町のバスを利用させてもらい図書館に来て積極的に利用している。また図書館の本ではないが、保育園にある本を毎週金曜日に貸し出し翌月曜日に返却してもらおうようし、持っている本を有効活用している。

また、児童館(児童クラブ)では保護者の方が迎えに来るまでに十分な時間があるため本を読むと良いと思う。良い本はたくさんあると思うのだが、各施設に返却できるようにはなったが、個人で借りて返すという事はまだ返却するのが手間のようである。児童館でまとめて借りて返すという方法で利用していきたいと考えている。

委員 ボランティアで保育園や児童館に読み聞かせに行っている。その時にこんな本が読みたいと要望があるので図書館に探しに行っている。幼児向けの本は小さい本もたくさんあり、探すのにとっても困難である。作者別に整理する等できないものか。分からないときは司書の人に探してもらっているが何かいい方法はないか。

管理者 そういう話はよく聞きます。そのことについては長年の課題であった。お話の本についてはお話コーナーに置き、わかりやすく探せるよう工夫しています。より分かりやすいようにしていきたい。

委員長 いろいろ工夫していただいているようですが、また何かいい方法があれば、それも取り入れていただければと思う。  
ありがとうございました。ほかにご意見がないようであれば、議題(1)「平成26年度図書館事業実績報告について」はご承認いただけるか。

ご承認いただける方は拍手をお願いします。

委員 拍手

委員長 ご異議なしと認め、議題(1)「平成26年度 図書館事業実績報告について」は承認された。

【議題2】平成27年度 図書館の運営について

館長 運営については指定管理者ということで東郷町施設サービス(株)が管理運営をさせていただいている。スタッフ10名体制であり館長、常勤司書2名、パート司書7名で勤めている。シフト体制で窓口2名と内勤4名以上で勤務しておりサービスの低下にならないようにしている。

以下、会議資料2に基づき説明

〈26年度の主な取り組み〉

- ・ 図書館サービス(図書の閲覧・レファレンス、貸出し及び返却)
- ・ 図書館資料の購入及び収集
- ・ 所蔵図書資料の配架・整理
- ・ 夏及び冬のお楽しみ会等の開催
- ・ 小学校放課後子ども教室等への団体貸出

6月から春木台小学校放課後子ども教室が開所され全6校に貸出。

- ・ 小中学校との連携(生徒・先生の職場体験、本の貸出し等)
- ・ ボランティアグループとの連携(おはなし会、お楽しみ会等)

今年度の新たな取り組み

- ・ 図書館ポイント制の導入
- ・ 図書館システムの更新

委員 新システムの取り組み、新着図書のお知らせ等についてとても期待している。閉架書庫へ移す時期は決まっているのか。

図書館 だいたい3年間利用が無いもの及び10年経過した蔵書は閉架書庫に移動させている。

委員 読みたい本がない時は司書に聞くと、親切に対応していただき、感謝している。  
図書館ポイント制についてだが、子どもも利用できるか。

館長 子どもさんも図書カードが発行され、ポイント利用できる。

委員 子どもはこのようなポイント制のしくみが大好きなので、利用促進につながると思う。PRも合わせてお願いしたい。読書人口も増加するのではないか。

館長 了解した。

委員長 小学校3年生は地域の探検という授業で図書館見学があると思うが、そのようなときにもPRしてもらいたい。

委員 ポイントカードの景品等については、今後も良く検討して行ってほしい。楽しみにしている。

館長 貴重な意見として伺っておく。

事務局 平成27年4月24日(金)に図書館ボランティア「まつぼっくり」が児童福祉功労団体表彰を愛知県知事から受け、感謝状を贈呈された。「まつぼっくり」は昭和57年町立図書館が開館された時から30年以上にわたり、子ども向け図書館ボランティアとして、毎週土曜日の読み聞かせ、第2土曜日の手遊び、紙芝居、年に2回のお楽しみ会等を行っている団体である。この活動は今年、広報とうごうや新聞でも紹介され、NHKテレビでも活動内容が放映される予定である。副委員長が「まつぼっくり」立ち上げ時から活躍されているので、補足説明等をお願いしたい。

副委員長 先輩方とともに子どもたちに楽しんでいただけるようにと一生懸命がんばってきた。どのボランティアも同じだと思うが会員の高齢者化が進んできた。このようなボランティア活動を続けていけば、若い担い手もできていくことを期待している。

委員長 おめでとうございます。読み聞かせの草分け的存在であり、東郷町の図書館とかかわり深く、東郷町として誇るべき実績だと思う。ありがたいことである。学校のPTAの方等にも声かけしてもらえると良いと思う。テレビ放送もぜひ観てほしい。

委員 中学生の職場体験で今年もお世話になると思うがよろしくお願いしたい。小学校に勤務している時に児童向けの読み聞かせボランティアがあり、子どもたちは大変楽しみにしている。これは選書から読み方の研修の成果だと思う。

今はデジタル化が進みスマホやタブレットで本が読めてしまう時代であり、書物から離れてしまうことになることを危惧している。本を読むことにより心が豊かになり、子どもの頃から本は楽しいものだという意識を、図書館を中心に掘り起こし、東郷町の文化が向上していくと良いと思う。

委 長 活字離れの子どもが多い。インターネットで調べれば宿題ができてしまう状況である。そのことから図書館の存在は大事だと思う。図書館利用者の掘り起こしを進めていかなければならないと思う。

委 員 児童館でも読み聞かせボランティアを行っているが、読んだ本をこれは図書館にあるんだよというように図書館をPRしている。

委員長 ありがとうございます。ほかにご意見がないようであれば、議題(2)「平成27年度 図書館の運営について」はご承認いただけるか。  
ご承認いただける方は拍手をお願いします。

委 員 拍手

委員長 ご異議なしと認め、議題(2)「平成27年度 図書館の運営について」は承認された。

## 5 その他

事務局より

- ・ 8月1日(土)いこまい館で夏のお楽しみ会。8月2日(日)町民会館視聴覚室で映画会、夏のおはなし会を開催する。